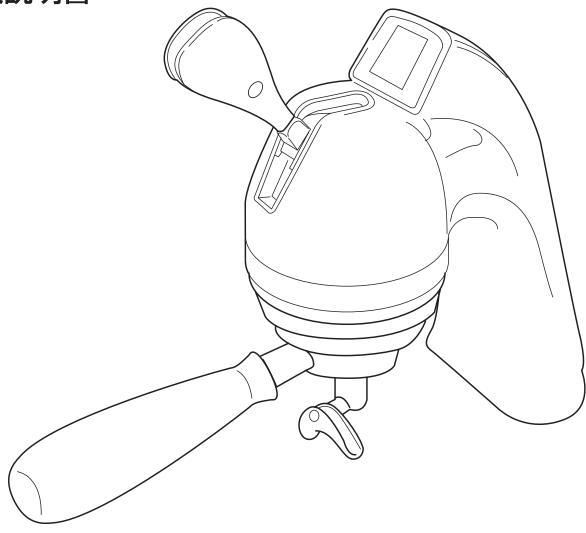


Espresso System

取扱説明書



| 目 | 次 | 百 |
|---|----|---|
| | 17 | 3 |

| 安全上の注意事項・・・・・・・1~2 各部の名称・・・・・・3 操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
|---|
| ● 画面表示・・・・・・・・・・ 5~9 ● 調整・・・・・・・・ 10 ● お手入れ・・・・・・ 11 ● 故障かな?・・・・・・ 12 ● 仕様・・・・・・・ 12 ● 製品保証書、無料修理規定・・・ 裏表紙 |

このたびは modbar Espresso System を お求めいただき、まことにありがとう ございます。

で使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にで理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

- · ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示内容は次の通りです。

♠ 警告 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

♠ 注意 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

↑ 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

アース工事を必ず行うこと

アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること 電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。

製品に直接水を掛けないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

機械内部の電気装置や配線に触らないこと

ヤケドや感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

漏電遮断器が「OFF(切)」に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

異常時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、

専用電源を切って、すぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。

ホットウォータースイッチおよびスチームワンドレバーを操作するときは、熱湯ノズル、スチームワンドがドリップトレーに向いているか確認すること また、顔や手などに向けないこと

ヤケドの原因になります。

顔や手、または他人にスチームワンドを向けないこと

ヤケドの原因になります。

容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリップトレー上に置くこと

持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。

改造は絶対に行わないこと

改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。

移設は専門業者か、お買上げの店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

廃却は専門業者か、お買上げの店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

注意

床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

本機の周囲は、壁およびものから 10cm 以上空けること

熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。

直射日光の当たる所や、周囲の温度が32℃以上の高温になる所には据え付けないこと

電気部品の故障の原因になります。

水をこぼしても良い所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと

熱で本体が損傷して故障の原因になります。

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

製品にもたれたり、乗ったりしないこと

ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。

給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること

他の水は、健康障害の原因になることがあります。

水道圧力は、流れている状態で 1.5kg/cm² 以上で使用すること

水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm²以下の場合は、お買上げ店にご相談ください。

断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時"赤水"が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

ヤケドの原因になることがあります。

一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること

洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF(切)」にして、専用電源も切ること 感電したり、ヤケドの原因になることがあります。

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。

付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF(切)」にし、電源プラグを使用の場合はコンセントから抜くこと

発熱や発火の原因になることがあります。

排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと

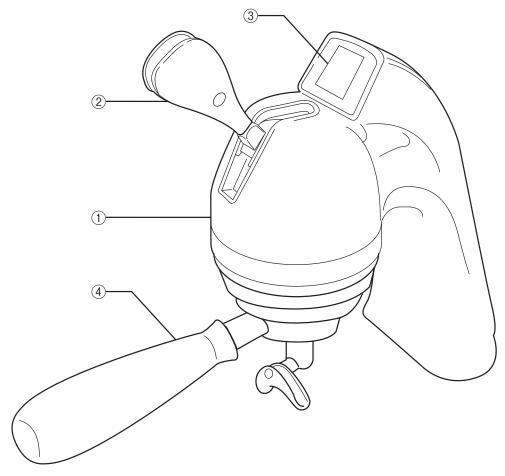
排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

漏電遮断器は月に1回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

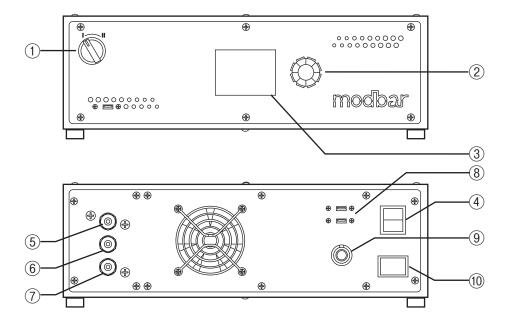
本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、 この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

各部の名称とはたらき



【抽出部】

- ①エスプレッソ抽出装置
- ②レバーハンドル
- ③ディスプレイ
- ④ポルタフィルター

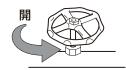


【モジュール部】

- ①ヒータースイッチ
- ②ジョグダイヤル
- ③タッチディスプレイ
- ④電源スイッチ
- ⑤エスプレッソタップ接続部
- ⑥給水接続部
- ⑦排水接続部
- ® USB ポート
- ⑨エスプレッソタップ ケーブル接続部
- ⑩電源コード差込口

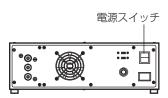
始業時の準備

▮ 水道の元栓を 開きます。

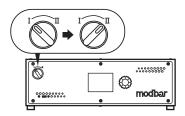


2 モジュール部背面の 電源スイッチを「I |にします。

> 電源 ON = I電源 OFF = O



モジュール部前面左の ヒータースイッチを 「Ⅱ」の位置に回します。

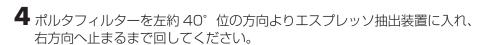


4 約5分後、モジュール部 ディスプレイの準備完了 インジケーターが赤から 緑に変われば適温です。



- ▮ ポルタフィルターが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、 オートリンス(11ページ参照)や抽出動作を行い、熱湯だけを出し、 ポルタフィルターをあらかじめ温めてください。
- 2 ポルタフィルターのフィルターバスケット内に、適量のコーヒー粉を 入れてください。

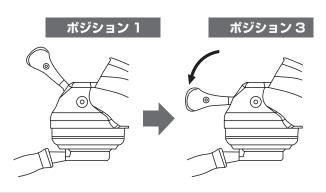


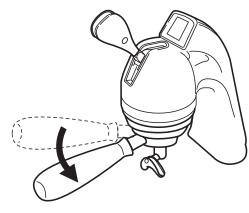




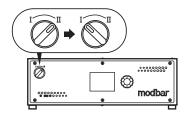








1 モジュール部前面左の ヒータースイッチを 「O」の位置に回します。

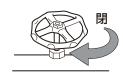


2 モジュール部背面の 電源スイッチを「OIにします。

> 電源 ON = I 電源 OFF = O



3 水道の元栓を 閉めます。

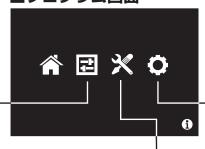


画面表示ツリー

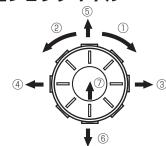
■ホーム画面



■プログラム画面



■ジョグダイヤル



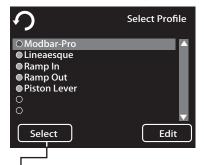
- ①右に回す…数値は 1 ずつ増加
- ②左に回す…数値は 1 ずつ減少
- ③右に押す…数値は 10 ずつ増加
- ④左に押す…数値は 10 ずつ減少
- ⑤上に押す…数値は 0.1 ずつ増加
- ⑥下に押す…数値は 0.1 ずつ減少
- ⑦押す……決定

●文字入力

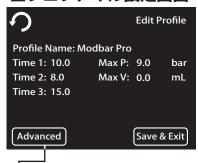
①②左右に回すと アルファベット (a~z)、 -、.、0~9 の順に 表示されます。

⑤⑥上下に押すと アルファベットは大文字 で表示されます。

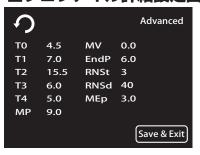
■プロファイル選択画面



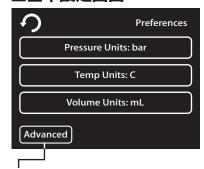
■プロファイル設定画面



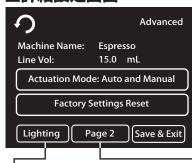
■プロファイル詳細設定画面



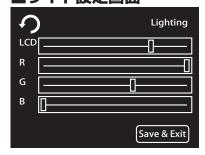
■基本設定画面



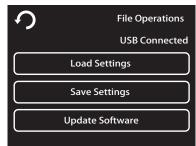
■詳細設定画面



■ライト設定画面



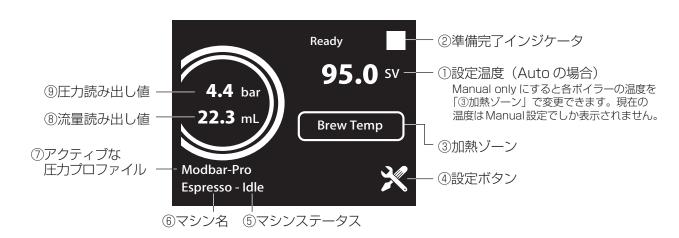
■バージョン設定画面



■詳細設定画面 2



ホーム画面



①設定温度 : アクティブな加熱ゾーンの現在の設定温度の値。

設定温度を変更するには、画面上の赤で表示されている数値にタッチします。

数値がハイライト表示に変わり、変更可能となりますので、ジョグダイヤルにて数値を

変更してください。

右に回す…数値は 1 ずつ増加します。 左に回す…数値は 1 ずつ減少します。 右に押す…数値は 10 ずつ増加します。 左に押す…数値は 10 ずつ減少します。 上に押す…数値は 0.1 ずつ増加します。 下に押す…数値は 0.1 ずつ減少します。

ジョグダイヤルの中央を押すと、変更が保存されます

(上記の操作で変更した温度は、現在選択しているプロファイルに保存されます)。

②準備完了インジケータ : 正方形のアイコンでマシンが使用できる温度になっているかどうかを表します。

マシンの電源を入れると、すべての温度ゾーンが設定温度に達するまでインジケータは赤(Heating)で表示されます。設定温度まで達すると、インジケータは緑(Ready)

に変わり、抽出できる状態であることを表します。

③加熱ゾーン:自動温度モードでは、このボタンは使用できません。

手動温度モードでこのボタンを押すと、エスプレッソシステムの3 つの加熱ゾーン、つまり、インレットボイラー、アウトレットボイラー、グループヘッドが順番に表示

されます(9ページの「詳細設定画面」を参照してください)。

④設定ボタン : 基本設定画面を表示します。

⑤マシンステータス : 本体とタップの現在のステータスを表示します。

⑥マシン名 : マシンの名前を表示します(詳細設定でユーザが変更可能)

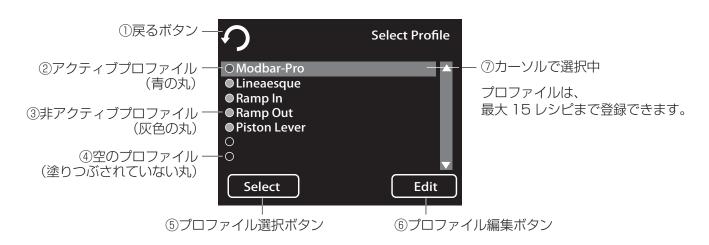
②アクティブな圧力プロファイル:現在選択されている圧力プロファイルを表示します。

⑧流量読み出し値 :抽出動作時(手動、自動、リンス)のリアルタイムの流体容量情報を表示します。

⑨圧力読み出し値 : 現在のボイラー圧力を表示します。

画面表示

プロフィル選択画面



①戻るボタン : 前の画面に戻ることができます。

②アクティブプロファイル : エスプレッソタップレバーを自動抽出ポジションにしたときに使用されるアクティブな

プロファイルで、青色で塗りつぶした丸で示されます。

③非アクティブプロファイル : プロファイルデータは設定されているが現在アクティブではないプロファイルで、灰色

で塗りつぶした丸で示されます。

④空のプロファイル : 何も表示されていないプロファイル欄で、プロファイルデータが入力されるまで使用で

きません。空のプロファイルは塗りつぶされていない丸で示されます。

⑤プロファイルの選択 : カーソルで選択している状態でプロファイル選択ボタンを押すと、プロファイルがアク

ティブプロファイルに設定されます。

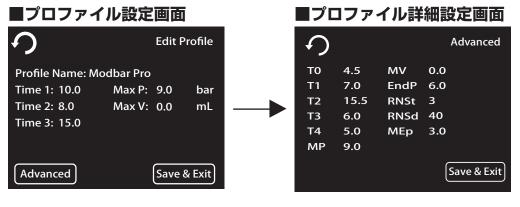
⑥プロファイルの編集 :カーソルで選択している状態でプロファイル編集ボタンを押すと、プロファイル設定

画面になりプロファイルデータを編集できます。

⑦カーソルで選択中 : カーソルで選択されているプロファイルを示します。

プロファイルのリストは、ジョグダイヤルを回して、または上下に動かして移動できます。

ジョグダイヤルの中央を押すと選択したプロファイルがアクティブになります。



変更したい数値をタッチして ジョグダイアルにて数値を 変更してください。

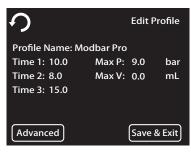
プロファイルの選択時、このメニューはタップのディスプレイにも表示されます。

設置している本体とタップとの距離にもよりますが、タップのディスプレイでメニューを移動し、つまみのボタンを使ってプロファイルをスクロールできます。つまみの中央のボタンを押すと、タップのディスプレイ上でプロファイルがハイライトされます。この中央のボタンでは、ホーム画面からプロファイル選択メニューに移動することもできます。

圧カプロファイル

エスプレッソシステムの圧力プロファイル機能は、「簡易」または「詳細」モードでプログラムできます。 いずれのモードでも、専用の設定画面があります。目標とする抽出特性が得られるプロファイルを作成するには、 それぞれの変数の意味や関係について理解することが重要です。

■プロファイル設定画面

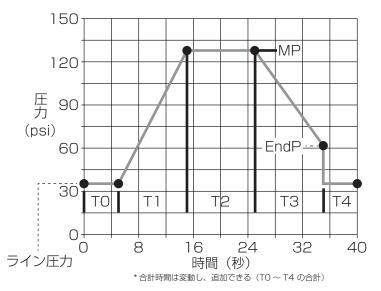


■プロファイル詳細設定画面



本システムは幅広い機能を備えており、現在市販されているほとんどすべてのエスプレッソマシンや圧力条件を再現できます。

以下のリファレンスガイドを参照すれば、「簡易」と「詳細」のいずれのプログラミングメニューインターフェイスでも問題なく設定できます。





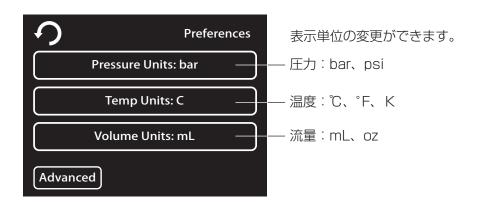
変数の意味

- **TO** むらし時間(加圧ポンプ稼働なし)(水圧のみ)
- **T1** 水圧から最大圧力(MP)までの到達時間 (加圧ポンプ稼働)
- **T2** 最大圧力を維持する時間 (加圧ポンプ稼働)
- **T3** 最大圧力から終了圧力(EndP)(加圧ポンプ稼働)
- **T4** 水圧に戻してからの抽出時間 (加圧ポンプ稼働なし)
- MP 最大圧力。 抽出中にポンプ圧が到達する最大圧力。 ※ 手動抽出モードにも適用される。
- MV 最大容量(デフォルト「O」)。
 「O」に設定すると、容量の計測が実行されない。「O」より大きな値に設定すると、
 設定された水量が注入されると、自動および手動抽出サイクルが中断する。
- EndP 終了圧力。 水圧よりも高い圧力で設定できる。 継続時間「T3」の終了時に到達する圧力 になる。
- RNSt リンス時間。

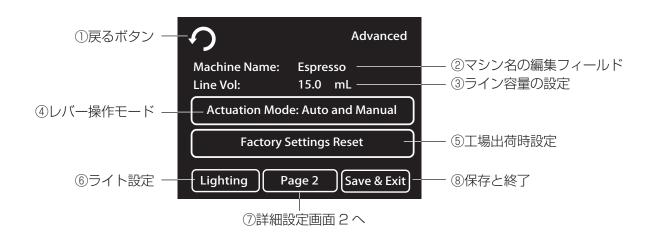
 自動リンス機能を実行する長さ(秒単位)。
- RNSd リンスモーターパワー。 自動リンス機能で流れを起こすモーター 速度の割合(0 ~ 100%)。
- **MEp** 手動終了圧力。 手動抽出モードの使用時にレバーハンドル をポジション 3 からポジション 2 に動かし たときに到達する圧力。

画面表示

基本設定画面



詳細設定画面



①戻るボタン:前の画面に戻ることができます。

②マシン名:本体の説明的な名前。

名前にタッチしてフィールドをハイライトし、ジョグダイヤルにて変更できます。

③ライン容量:この値は、エスプレッソシステムの本体とタップの間のラインにある水を調整するために使われ

ます。また、コーヒーパックに吸収される水の損失を確認する場合にも使われます。ライン容量の設定は、同じ抽出プロファイルや容量計量設定を使っている2台のエスプレッソシステム本体のずれを訂正するのにも使用できます。たとえば、2台の本体がどちらも36mLを取り出すようにプログラムされていて、一方が他方よりわずかに取り出し量が多い場合、取り出し量の多い

本体のライン容量設定を増やして最終的な量を調整できます。

④レバー動作モード :この設定を使い、エスプレッソタップのレバーハンドルの動作を制御します。

「Auto and Manual」自動圧力プロファイルモードと手動操作モードの両方を使うことができます。

「Auto」自動圧力プロファイルモードのみになります。

「Manual」手動操作モードのみになります。

⑤工場出荷時設定 : すべてのシステム設定を工場出荷時の値にリセットします。

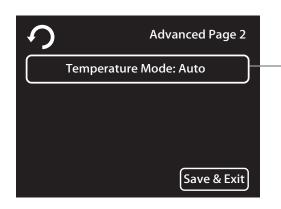
注意:保存していたすべての圧力プロファイルとその他の設定は失われます。

確認画面が表示されるので、工場出荷時設定に戻す操作を確定してください。

⑥ライト設定 : ライト設定画面に移動します。⑦詳細設定のページ 2 : 詳細設定画面 2 に移動します。

⑧保存と終了 :設定の変更を保存し、現在表示されている画面を終了します。

詳細設定画面 2



ボイラーの温度制御を選択できます。

・Auto の場合

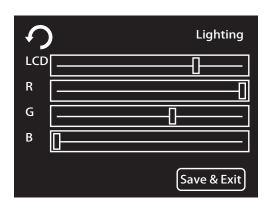
Brewhead、Inlet、Outletの3ヶ所の温度を一括で温度管理することが可能です。

・Manual の場合

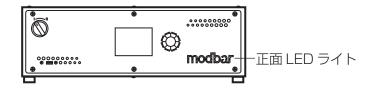
Brewhead、Inlet、Outletの項目を個別に設定できます。

Brewhead······20 \sim 99 SV Inlet·······20 \sim 102 SV Outlet······20 \sim 102 SV

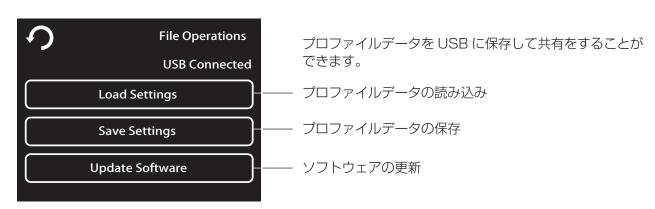
ライト設定



正面 LED ライトの色を変更することができます。

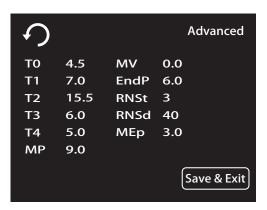


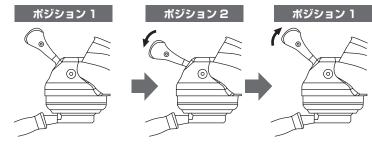
バージョン設定



オートリンス

レバーのポジションをポジション 1 から、素早くポジション 2 にレバーを移動し、再度素早くポジション 1 に戻すとオートリンスが開始されます。





※ 各ポジションの操作は 1 秒以内で操作してください。

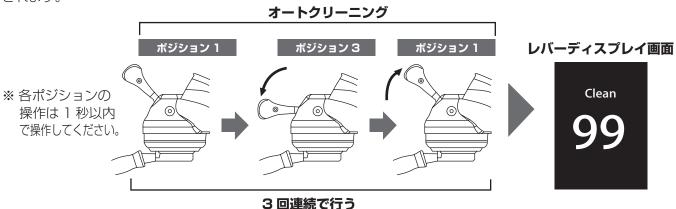
抽出装置の清掃(毎日の清掃)

- エスプレッソ抽出装置より、ポルタフィルターを 外してください。
- **2** コーヒーカスを捨ててください。
- **3** 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの 外側を洗ってください。





- 4 ブラインドフィルターをポルタフィルターに取り付け、ティースプーン 1 杯(約8g)の洗剤を入れます。
- 5 ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けて、レバーのポジションをポジション 1 から、素早く3に移動、再度ポジション 1 に戻す動作を3回連続で行うと、画面に「99」と時間が表示され、オートクリーニングが開始されます。



- るオートクリーニングの時間終了後、エスプレッソ抽出装置からポルタフィルターを外し、すすぎ洗いをしてください。
- 7 再度、ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けてオートクリーニングを実施してください。 (抽出装置のすすぎ洗い)
- 8 ポルタフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

故障かな?&仕様

故障かな?

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

■本体が加熱しない

ヒータースイッチがⅡの位置にあるか確認してください。

■タップでディスペンシング(一定量の注入)が行われない

本体への給水がオンになっていることを確認します。

水道の元栓が開いているか確認してください。

また、タップと本体の間の給水チューブにねじれなどがないことを確認します。タップのディスプレイが正しく機能していることを確認します。機能していない場合は、タップの電気接続を確認します。

■ポンプの圧力が超過する

プロファイルのプログラムで、T1 の時間が 2 秒以上になっていることを確認します。 2 秒未満の場合は、圧力の到達が速すぎるためにポンプが異常動作することがあります。

仕 様

| 形 | 名 | 名 | ESPRESSO SYSTEM | | |
|--------|-------|--|-----------------|--|--|
| 電 | 源 | 原 | 単相:200V | | |
| 消費電力 | | カ ー | 3,300W | | |
| 重量 | モジュール | ν l | 16kg | | |
| | タップ | Ĵ | 11.3kg | | |
| ボイラー容量 | | | 1.2L | | |
| 寸 法 | | Tap 部分: W137×D300×H296m 法 Mod 部分: W406×D415×H136m タッチスクリーンサイズ: 3.2 インチ | | | |

注意:上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

MEMO

MEMO

製品保証書

| 型式 | 機番 | | | | | | 保証期間 | | | |
|-------|-----|---|---|---|---|-----|------|-----|----|--|
| お | お名前 | | | | 様 | お買し | 上げ日よ | り1た | J年 | |
| 客 | ご住所 | ₹ | | | | | お買」 | 上げ日 | | |
| 様 | 電話(| |) | _ | | * | 年 | 月 | 日 | |
| *販売店名 | | | | | | | | | | |
| 住所 | | | | | | | | | | |
| 電話 | (|) | _ | | | | | | | |

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。 ご販売店さまへ:*印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害 (硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の 使用電源 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷。
 - (二) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (へ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- 3. この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の 修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーJ-ヒーマシン 株式会社